

参考資料（防災拠点のあり方）

防災拠点	機 能
大手前防災拠点 （メイン） ※ 1	<p>◆災害対策本部</p> <p>【情報通信設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチビジョン、防災無線、防災情報システム、震度情報ネットワークシステム等、及び各システムのサーバー <p>【必要諸室 計 2,800 m²】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援機能：災害対策本部室、防災関係機関室（消防・警察・自衛隊・政府現地対策本部室等） ・情報受発信機能：無線機械室、統制室、コンピュータ室、環境放射線監視室等 ・その他機能：本部長関係室、記者会見室、仮眠休憩室、当直室、備蓄倉庫等 <p>◆運営体制及び部局執務室（電話・FAX、IT 環境）の確保</p> <p>必要最低限の人員配置：発災後 72 時間までの災害対策本部運営を行う要員</p>

○ これまでの考え方によるデュアル化の機能

	機 能
デュアル	<p>◆ダブルメイン</p> <p>◆常に 2 つの場所（大手前と他の 1 か所）に、メインと同等の施設・設備を持つ</p> <p>◆運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要最低限の運営体制及び部局執務室の確保 <p>◆運営ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害・危機事象等に応じて、どちらを司令塔とするか、予めルールを定め運用する

○ 大手前防災拠点をメインとしつつ、今後確保を検討するバックアップ機能

	機 能
バックアップ ※ 2	<p>○大手前が使用不可となった場合に、臨時に司令塔機能を担う。 但し、既存施設の活用を基本とするため、高額なハード整備は行わない。</p> <p>◆災害対策本部</p> <p>【情報通信設備】：防災無線</p> <p>【必要諸室 計 700 m²】 ⇒ 既存の会議室（机・イス等）を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援機能：災害対策本部室、防災関係機関室（消防・警察・自衛隊・政府現地対策本部室等） ・情報受発信機能：無線機械室 <p>◆運営体制及び部局執務室（電話・FAX、IT 環境）の確保</p> <p>日常的に職員が勤務する場所が望ましい。</p>